



第2回大規模災害対策協議会を開催しました！

2024年9月6日（木曜日）に第2回大規模災害対策協議会を開催しました。今回は日本赤十字社千葉県支部との懇談として、日本赤十字社からは、野村事業部長、大野救護福祉課長、伊藤救護係長、浅田主事の4名と生協側からは各生協、団体の災害対応を担当している12名で懇談をおこないました。



全体の様子

はじめに、日本赤十字社 千葉県支部 野村事業部長より、お互いの活動を共有して災害時における連携を深めていきたいとあいさつがありました。続いて、千葉県生協連尼崎専務より、本日の懇談を機会に災害時に迅速に対応できるように日本赤十字社、各生協と顔の見える関係づくりをすすめていきたいとあいさつがありました。

次に伊藤係長、浅田主事より令和5年度における日本赤十字社千葉県支部の活動、及び令和6年度能登半島地震にかかる日本赤十字社の対応について以下の内容の報告がありました。

- ① 大規模地震や風水害に備えて医療救護班等の常備、災害医療に必要な知識・技術の研修、防災関係機関との連携強化、命を守る知識と技術の普及の取り組み、また、赤十字ボランティアの育成、青少年赤十字の支援、赤十字の国際活動、障がい者へのサポート強化の取り組み
- ② 令和6年1月1日に発生した能登半島地震にかかる日本赤十字社の対応について、職員派遣、ボランティアの活動、救援物資の配布等をおこなったこと、千葉県支部からも発災当初から珠洲市や七尾市に救護班、日赤災害医療コーディネートチーム (CoT)、こころのケア班、支援要員を派遣したこと。

続いて、日本生協連中央地連の佐藤担当より能登半島地震における生協の支援活動について報告がありました。会員生協、各団体からも、パルシステム千葉、コープデリ連合会、生活クラブ生協、こくみん共済coop、中央労働金庫、千葉県生協連から能登半島地震に対するそれぞれの取り組みが報告され、懇談をおこないました。

次回は12月5日（木）を予定します。

以上